

實相院だより

令和五年九月

百三十五号

あこがれの岸

「ご法事のときにお唱えしていただいている「智山勤行式」の中に「仏説摩訶般若波羅蜜多般若心経」があります。

波羅蜜多はらみつたは梵語ほんご（サンスクリット語）で、

漢字に訳せば「到彼岸」、意味は彼の岸に到るということなのです。

般若心経は悟りの彼岸に到る心を示されています。

○ ○

争いがあり、悪があり、暗い苦悩の此の岸より、平和で明るい、彼の岸に渡る。

本能の欲望のとりこになることなく、さまざまな煩惱に打ち勝って悟りを得る。

それが波羅蜜多・到彼岸です。

ろくはらみつ

仏教では、彼岸に渡る方法、六波羅蜜を教えてください。

- ① ほどこしをする。
(布施)
- ② いましめをまもる。
(持戒)
- ③ がまん、たえしのぶ。
(忍辱)
- ④ おこたらずはげむ
(精進)
- ⑤ こころしずかにたもつ。
(禅定)
- ⑥ さとりのちえ。
(智慧)

お供え物

仏さまには、新しく美味しいものをお供えします。

仏壇、位牌堂、お墓にお供えしたものは、美味しいうちに下げ、家族みなでご馳走になり、ご先祖様のお力をいただきましょう。

實相院の仏さま（8）

弘法大師（空海）

本堂内陣に向かつて、右側にまつられています。仏さまのお席は、中央が上席で向かつて右側が二番目の席です。

弘法大師は真言宗を開かれた方で、右側にまつられています。

實相院のお大師さまは木造彩色、玉眼寄木造りです。十王堂（賢蔵院）にも一体まつられています。

お大師さまが高野山に入定されたのが三月二十一日ですので、お大師さまの縁日は二十一日です。

ご真言は、南無大師遍照金剛です。

弘法大師ご誕生記念慶讃法要

十月三日十二時三十分より、男鹿市長楽寺本堂に於いて、真言宗智山派奥羽教区主催の弘法大師ご誕生千二百五十年慶讃法要が厳修されます。

ご法話、詠歌奉詠、法要が行われます。實相院詠歌講の方々も詠歌奉詠されます。

お願い

感染症予防の為、お寺参りにお越しの際には、玄関での手指の消毒にご協力をお願いいたします。なお、堂内でのマスク着用に関しては、個人の判断にゆだねます。マスクをお忘れの方のためにマスクを設置しております。必要に応じてご利用ください。



弘法大師 空海
ご誕生 1250年
令和5年(2023年)